

Vestax®

PDT-6000

取扱説明書



VESTAX CORP.

2-37-1 Kamiyama, Setagaya-ku, Tokyo 154

Phone: 03-3412-7011 Fax: 03-3412-7013

VESTAX MUSICAL ELECTRONICS CORP.

2860 Cordelia Rd. Suite 120 Fairfield, CA 94585 U.S.A.

Phone: 707-427-1920 Fax: 707-427-2023

VESTAX (Europe) Ltd.

18 St. Christophers Road, Haslemere, Surrey GU27 10Q England.

Phone: 0428-653117 Fax: 0428-661021

ごあいさつ

この度は、VESTAX PDT-6000をお買上げ戴きまして誠にありがとうございます。ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い致します。

特 長

- ハイトルク ダイレクトドライブ モーターの採用により、起動トルクは1.6kg・cm 重量級ターンテーブルがわずか 0.5秒(33⅓rpm時)で立ち上がり、頭出しがタイミングよく行えます。
- トーンアームとターンテーブルドライブモーターをフローティングさせた同一プレート上にマウントすることにより、振動を吸収しハウリングを極力防止しました。大音量での演奏中にもトラブルを最小限に押さえます。
- 仮相一点支持ジンバルサポートシステムを採用したS字形ロングアームにより、基本性能をさらに追求しました。一般オーディオ機器としても、トップクラスのクオリティーを誇ります。
- 連続可変ピッチコントロール方式を採用、極めて正確な回転精度を保ったまま±10%の範囲でピッチを連続的に変化させることができます。又、ピッチフェーダーはクリックを持たないために全域にわたり微妙な調整も可能です。
- ピッチフェーダーはデタッチャブル フェーダー システム方式によりメンテナンスを容易にしました。
- クォーツロックには、ON/OFF切替えスイッチを採用し、ピッチを変化させていても、瞬時に定速回転に切替えられます。
- デジタル表示によるピッチディスプレイにより、演奏中のレコードのピッチを容易に確認することができます。
- 針先を照明するライトは、取外し可能なデタッチャブル ミニライトを採用しました。
- スタート/ストップを外部(フットスイッチ等)でコントロールするためのリモートコントロール端子を装備しています。
- 電子ブレーキ機構を採用していますので、ワンタッチで素早くブレーキがかかります。
- ラバー製ボタンはタッチ感がよく、操作性に優れています。
- 4つの大型インシュレーターが、外部振動の悪影響を効果的に抑止します。
- スクラッチプレイが可能なスリップマットを付属しました。

安全上のご注意

- 本機は交流(AC)電源100V専用ですので、直流電源や他の異なる電圧の交流電源に直接つないで使用することはできません。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは必ずプラグを持って抜いて下さい。無理にコードを引っ張ったりして抜くとコードを傷めてしまいます。
- 水等に濡れた手でプラグを持ってコンセントに抜き差ししないで下さい。感電することがあり、大変危険です。
- ビニール等の被膜が切れたりこすれたりして電線が露出している電源コードをそのまま使用すると、感電や火災の原因となります。また、本機内部に水等の液体や可燃物およびビン等の金属類を入れないようにご注意ください。感電や故障の原因となります。
- 本機外装のカバーを取り外して内部に手を触れないで下さい。この結果生じた損傷、感電や火災等について、弊社はその責任を負いません。

設置上のご注意

常温(5~35℃)、通風が良い、頑丈で電源電圧の変動が少ない場所に設置して下さい。アルコールやシンナー等の溶液で塗装面をふかないで下さい。塗装がはげることがあります。

アフターサービス

1. 本機には保証書を添付してあります。所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保管して下さい。
2. 保証期間中は、保証書の記載内容により、弊社サービス機関が修理いたします。
3. 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、または弊社サービスにご相談下さい。保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

取扱い上のご注意

1. 針先やレコードに付着したほこりやごみは、よく取り除いてください。

針先にほこりやごみがついたまま演奏しますと、針先がレコード音溝に正確に接触せず、音質が悪化するだけでなく、レコード盤や針先の損耗が早まります。

トーンアームからシェルごと取はずし、柔らかい穂先のはけか毛筆などで根元から針先に向かって、ていねいに取り除いてください。

また、レコード盤も良質のレコードクリーナーでよくふいてください。

2. シェル端子は時々ふいてください。

シェルをトーンアームからはずしておきますと、シェル端子にほこりやごみがつき、接触不良を起こし、雑音が発生したり、ハムが大きくなったり、また、音が出なくなる場合がありますので、柔らかい布などで、シェル端子をふいてから、トーンアームに取りつけてください。

3. シェルを着脱する場合、アンプのボリュームを“0”にするか、アンプの電源を“OFF”にしてから行ってください。

ボリュームをあげた状態でシェルの着脱を行いますと、不愉快な音がするだけでなく、スピーカをいためる場合があります。また、シェルを着脱する場合は、針先保護のため、針カバーをしてください。

4. ハウリングとハムについて

ハウリングは、スピーカーからの音や振動がプレーヤーに伝わり、それを再びカートリッジが拾い上げることによって生ずるものです。ボリュームを上げて、ウオーンというハウリングが発生するときは、スピーカーと本体との位置関係をチェックし、音や振動が本機に伝わらないように対策してください。

ハムノイズは、他の電源製品から出る電磁波によるものです。本機周辺の電器製品では特にアンプとの位置関係をチェックしてください。また、ハムやノイズはアースを正しくとらないと発生します。アース線をアンプ、ミキサーのGND端子にしっかりと接続してあるかどうかチェックしてください。

5. 転宅などで、遠くへ運ばれるとき。

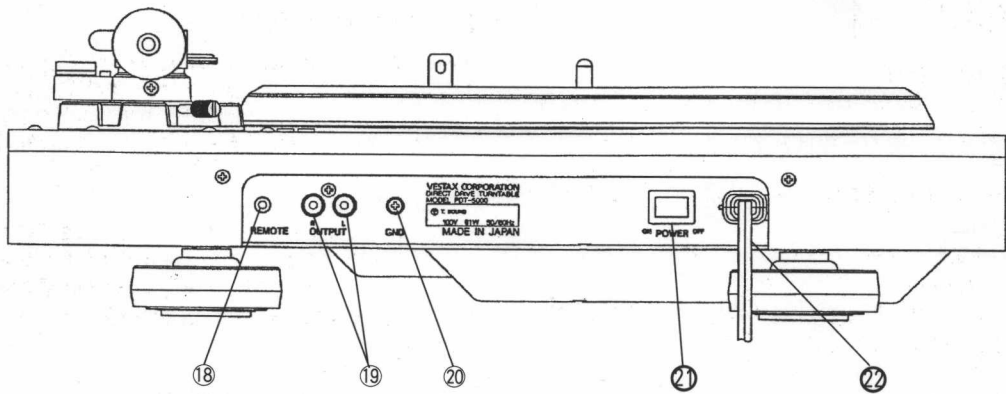
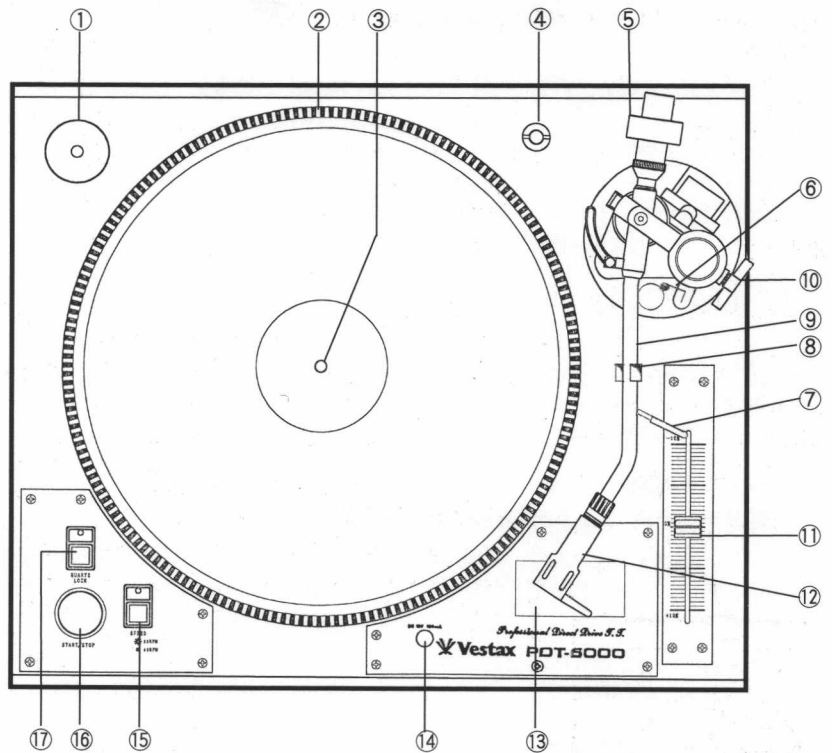
購入時の包装材で、開梱のときと逆の方法で包装してください。包装材がないときでも、次のことは必ず行ってください。

- ターンテーブルシートとターンテーブルを抜き取って、傷のつかないように包装します。
- アームをアームレストに戻し、更にテープで結んで動かないようにしてください。
- バランスウェイト及びインサイドフォースキャンセラーやシェル／カートリッジは、アームから取りはずし、傷のつかないように包装してください。
- 本体は、毛布や、柔らかい紙で、傷のつかないように包装してください。

各部の名称

フロント部

- ① EPレコード用アダプタ
- ② ターンテーブル
- ③ センタースピンドル
- ④ カートリッジスタンド
- ⑤ バランスウェイト
- ⑥ インサイドフォースキャンセラー
- ⑦ キューイングレバー
- ⑧ アームレスト
- ⑨ トーンアーム
- ⑩ アーム高さ固定ツマミ
- ⑪ ピッチコントロールフェーダー
- ⑫ ヘッドシェル
- ⑬ ピッチディスプレイ
- ⑭ デタッチャブルミニライト
- ⑮ スピード切替ボタン
- ⑯ スタート/ストップボタン
- ⑰ クォーツロック



リアパネル部

- ⑱ リモートコントロール端子
- ⑲ アウトプット（出力）端子
- ⑳ GND端子
- ㉑ パワースイッチ
- ㉒ 電源コード

お使いになる前に

本機は一部の部品を取り外して包装しております。部品が揃っているか確認してください。

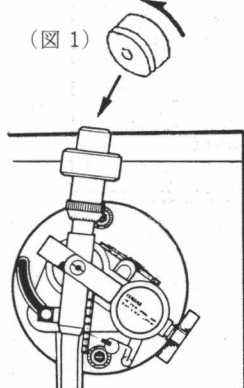
- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 本体 | 7. EPアダプタ |
| 2. ターンテーブル | 8. RCAケーブル |
| 3. スリップマット | 9. GNDケーブル |
| 4. シェルウエイト | 10. デタッチャブルライト |
| 5. シェル | 11. IFCウエイト |
| 6. バランスウエイト | 12. IFCポスト |

組立て方

組み立て調整がすべて完了するまでは、電源プラグをコンセントに差し込まないで下さい。

ターンテーブルの取り付け

1. ターンテーブルをセンタースピンドルにはめます。
 2. スリップマットをのせます。
- ご注意：ターンテーブルを取りつける場合、本体に当てないようにご注意下さい。



バランスウエイトの取付け

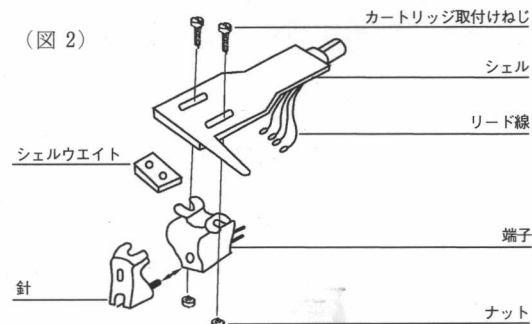
1. バランスウエイトをトーンアーム後方から入れ(図1)正面から見て左回り図1の矢印の方向に廻します。

カートリッジの取付け

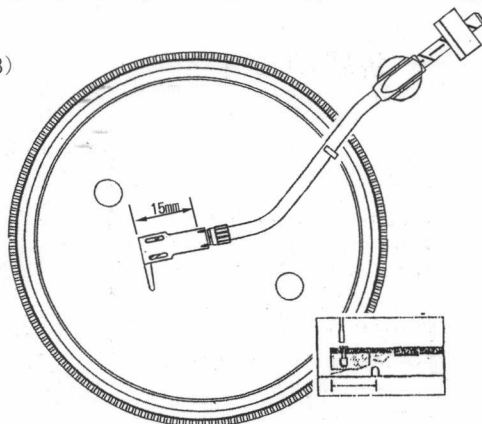
1. 図2を参考に、ご使用のカートリッジ説明書に従って取付けて下さい。又、カートリッジをヘッドシェルの先端と平行に取付けます。
2. カートリッジのリード線のL, R極性は以下になっています。

赤のリード線……R + 白のリード線……L +
 緑のリード線……R - 緑のリード線……L -

ご注意：軽いカートリッジ(4g~5g)を取付ける場合は、付属のシェルウエイトをご使用ください。



(図 3)



オーバーハングの調整

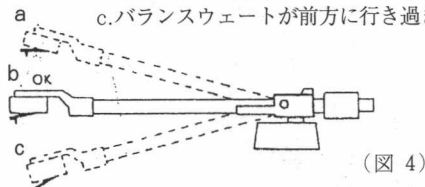
1. カートリッジを取付けましたら、次にオーバーハングの調整をします。このオーバーハングが正しく調整されていないと再生音に歪みをきたしたり、針とびを起こす原因となります。本機の標準オーバーハング値は 15 mm となっています。定規等を使ってオーバーハングの調整をして下さい。(図 3)
2. カートリッジの取付けビスをドライバーでゆるめます。
3. トーンアームをセンタースピンドル上に移動させて下さい。
4. 針先とセンタースピンドルの間隔が 15mm になるようにカートリッジを前後に動かします。
 (ご注意) カートリッジを前後に動かす際、針先が指やターンテーブルに触れて破損することのないよう、慎重に行ってください。
5. オーバーハングが正しく調整できましたら、トーンアームをアームレストに戻し、カートリッジの取付けビスを締めて固定します。

水平(ゼロ)バランス調整

1. 針先にふれないように注意して、針カバーははずし、トーンアームをアームレストから離してフリーの状態にします。
2. バランスウエイトを廻しながらトーンアームが水平になるように調整します。この時、キューイングレバーは倒しておきます。

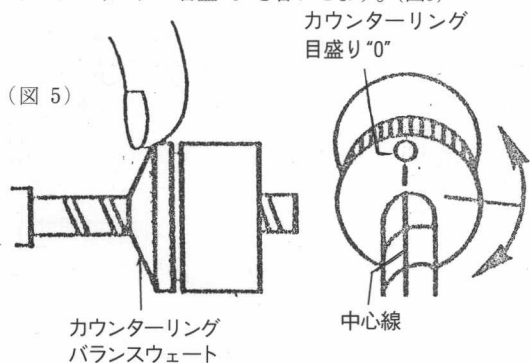
調整例 (図4)

- a. バランスウエイトが後方に行き過ぎています。
- b. バランスウエイトとカートリッジのバランスがとれた状態です。トーンアームが水平になります。
- c. バランスウエイトが前方に行き過ぎています。



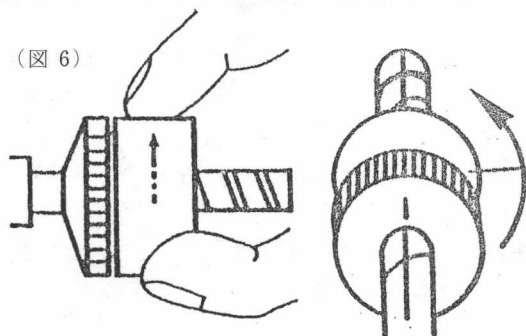
3. 水平バランスを調整した後トーンアームをアームレストに戻します。
 (ご注意) 水平バランス調整するとき、カートリッジの針先がターンテーブルや本体に触れないようにして下さい。

4. 水平バランス調整後バランスウェートを動かさないように指で支え、カウンターリングだけを廻し、アーム軸の中心線にカウンターリングの目盛“0”を合わせます。(図5)



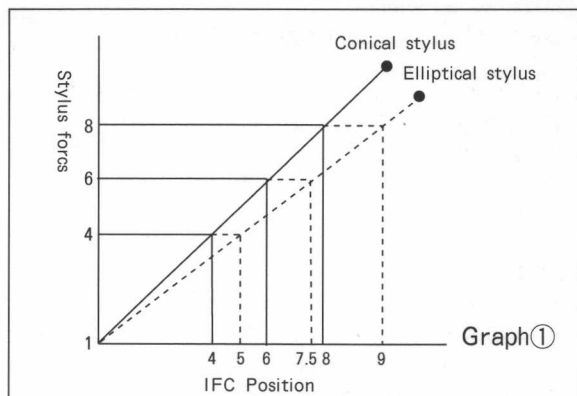
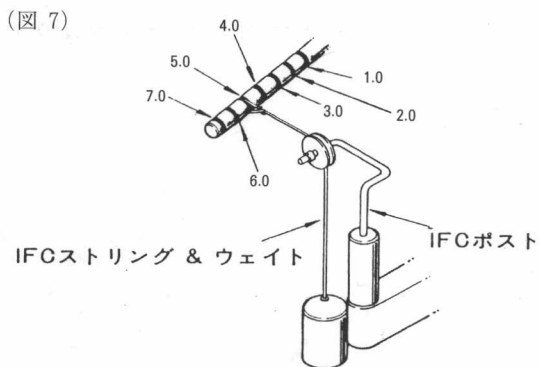
(ご注意) バランスウェートが動いてしまった場合は、もう一度水平バランス調整からやり直して下さい。

5. バランスウェートを図6の矢印方向に廻してカートリッジ指定の針圧に合わせます。バランスウェートを廻しますとカウンターリングも一緒に動きますから、カウンターリングを直読みしながら適正な針圧に調整します。(図6)



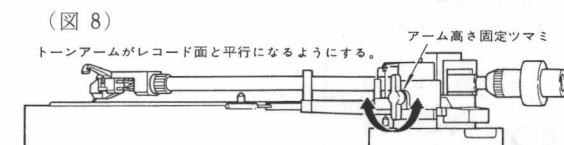
インサイドフォースキャンセラー(IFC)の調整

1. IFCポストを取り付けます。
2. IFCストリングを図7で示す針圧と同じ数値の位置へ掛け、IFCポストのローラーで吊ります。



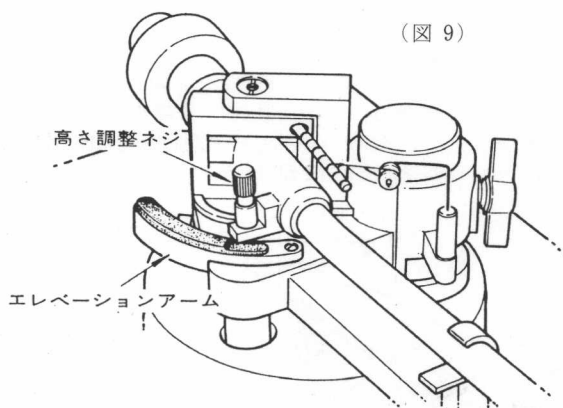
アームの高さ調整

1. ターンテーブルにレコード盤をのせ、キューイングレバーを下げて、針先をレコード盤に降ろします。
2. アーム高さ固定つまみをゆるめ、トーンアームを静かに上下させて、レコード盤と平行になるように調整します。
3. トーンアームが平行になった位置でアーム高さ固定つまみを締め、固定します。



キューイング装置の高さ調整

キューイングレバーを上げた状態で、針先がレコード盤から6～7mm離れる程度に調整します。また、キューイングレバーを下げてレコード演奏状態としたときに、エレベーションアームと高さ調整ネジとの間が充分クリアランスを保っていることを確認して下さい。



ピッチコントロールによる回転数の微調整

1. パワースイッチをONにして電源を入れます。
2. クォーツロックランプが点灯している時は、規定の回転数が(33⅓か45rpm)が得られます。
3. ピッチを変えたい時にはクォーツロックボタンを押し、ランプが消えるのを確認してからピッチコントロールフェーダーを動かして下さい。
4. ピッチコントロールは約±10%可変できるので、ピッチディスプレイの数値を目安にピッチコントロールフェーダーを動かして下さい。
5. ピッチディスプレイの数値は、およその%を示しています。

クォーツロックについて

- ① クォーツロックインジケータが点灯している時は、規定の回転(33⅓rpm, 45rpm)が得られます。
- ② ①の状態から、クォーツロックボタンを押すと、クォーツロックインジケータが消えて、クォーツロックが解除され、ピッチコントロールが可能な状態になります。
- ③ ②の状態から規定の回転数(33⅓rpm, 45rpm)に戻りたい時は、クォーツロックボタンを押すと、クォーツロックインジケータが点灯し、ピッチコントロールフェーダーがどんな位置にあっても瞬時に規定の回転数(33⅓rpm, 45rpm)に戻ります。

プレーヤーの設置

1. 外部振動を受けない、しっかりした水平な場所に設置してください。
2. スピーカシステムからできるだけ離して設置してください。
3. 直射日光、ほこり、湿気などの多い場所や、暖房器具の近くは避けてください。
4. 通風の良い場所を選んでください。
5. ラジオ(FM/AM)を極端に近づけますと、ラジオに雑音が入る場合がありますので、できるだけ本機より離してください。

接続のしかた

1. PHONO端子の接続

PHONO端子側		ミキサー側	
白色(L)	→PHONO	L	の入力端子へ
赤色(R)	→PHONO	R	の入力端子へ
黒色(アース線)→		GND	の端子へ

(ご注意) アース線の接続は必ず行って下さい。アース線を接続しませんでしたと電源ハム(ブーンという音)が出ます。

2. 電源プラグの接続

電源プラグをコンセントに接続します。
(ご注意) 本機は交流(AC)電圧100Vでご使用いただくようになっています。200Vの電圧や直流(DC)電源には絶対接続しないでください。

3. リモートコントロールについて

本機には演奏のスタート/ストップをサイクリックに行うリモートコントロール機能を装備しています。リモートコントロール端子にフットスイッチ等を接続してご使用下さい。

端子配列: ホット ———— 3.5Φミニプラグ
 コールド(GND)

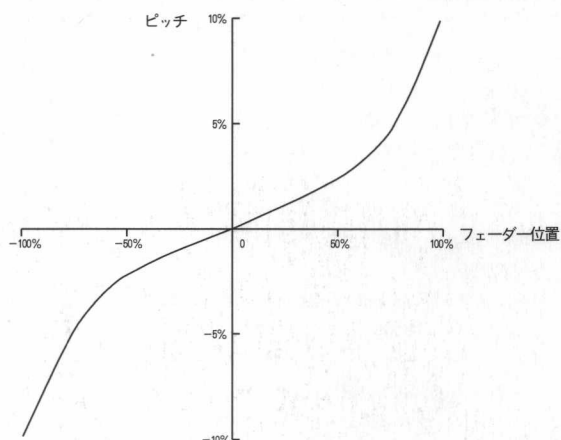
演奏のしかた

1. レコード盤をターンテーブルシートにのせます。
2. リアパネルのパワースイッチを押して電源をONにします。
3. 針カバーをはずします。
4. スタート/ストップボタンを押します。ターンテーブルは回転します。
5. キューイングレバーを起こします。トーンアームは上昇します。
6. トーンアームをレコード盤上に移動します。
7. キューイングレバーを倒します。トーンアームは静かに下降し演奏が始まります。
8. 演奏が終わりましたら、トーンアームをアームレストに戻します。また、針先保護のため針カバーをつけておいてください。
9. スタート/ストップボタンを押します。ターンテーブルは電子ブレーキによりなめらかに停止します。その後、パワースイッチを押して電源をOFFにしてください。
(ご注意) スタート/ストップボタンを押さずにパワースイッチをOFFにした場合、電子ブレーキは働きません。
10. 演奏を一時中断する場合。
キューイングレバーを起こします。カートリッジの針先はレコード盤より離れます。
11. EPレコードの演奏
EPレコード用アダプタをセンタースピンドルにはめます。
12. デタッチャブル ミニライトについて
本機には演奏中に針先を照らす、取外し可能なデタッチャブルミニライトが付属されています。特に必要のない場合には、取り外してご使用になれます。

ピッチディスプレイについて

ピッチディスプレイは、モーター駆動回路が発生する回転数を電氣的に読み取って表示します。その精度は、誤差0.5%未満という高精度です。ピッチコントロールフェーダーの動きにつれてディスプレイの数値も変化します。一般的にフェーダーのカーブには誤差が大きいとされているため、本機ではフェーダーの位置で確認するよりも正しく確認できるデジタル表示のディスプレイを採用しています。

ピッチとピッチコントロールフェーダーの位置関係



SPECIFICATION

TURNTABLE	MOTOR STARTING UP TIME STARTING TORQUE BRAKING SYSTEM RAMBLE (S/N RATIO) SPEED PITCH WOW & FLUTTER	DIRECT DRIVE QUARTZ 0.5sec (33½rpm) 70° 1.6kg · cm ELECTRONIC BRAKE 78dB (IEC 98A WTD) 33½rpm, 45rpm ±10% (DETOUCHABLE 100mm FADER) 0.03% W. R. M. S.
ARM	TYPE EFFECTIVE LENGTH OFFSET ANGLE OVER HANG TRACKING ERROR CUEING DEVICE ANTI SKATING STYLUS PRESSURE ARM HIGHT	FIG. "S" STATIC BALANCE, GIMBAL SUPPORT SYSTEM 230mm ±1mm 22° 15mm +2° 32' ~ +0° 32' OIL DAMPLING TYPE ADJUSTMENT RANGE 0~7.0 g ADJUSTMENT RANGE 0~7.0 g ADJUSTMENT RANGE 43.5~58.5mm
	LIGHT PITCH DISPLAY SPEED LOCK REMOTE DIMENSION WEIGHT POWER	DETOUCHABLE MINI LIGHT DC12volt 100mA DIGITAL QUARTZ LOCK MOMENTARY START (MINI JACK) (W)450mm×(H)136mm×(D)370mm 11kg AC 100V